

令和7年度 教育学研究科 教育実践高度化専攻

児童生徒支援コース 解答例

問題

令和5年3月に文部科学大臣の下、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策として、「COCOLOプラン」を発表しました。

このプランの中で、校内教育支援センター（スペシャルサポードルーム等）の設置の促進が打ち出されました。その趣旨として、「自分のクラスに入りづらい児童生徒が、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できる環境を学校内に設置します。自分のクラスとつなぎ、オンライン指導やテスト等も受けられ、その結果が成績に反映されるようにします。」と述べられています。

不登校対策の一環として打ち出されているこの「校内教育支援センター」について、あなたの意見を自由に述べなさい。ただし、良いと考えられる点、悪い（問題がある）と考えられる点、両方とも述べなさい。

引用：文部科学省「COCOLOプラン」令和5年3月

採点の観点

- ① 功罪それぞれを論じていること。功罪の片方しか述べられていない場合は減点する。
- ② 長期にわたる不登校を経験した児童生徒については、学校復帰する際にペースを取り戻せること、生活リズムを回復しやすいこと、登校への敷居が低くなること、学習支援を行えること等がメリットとしてあげられる。また、登校渋り状態などの不登校への早期対応の一つとして、学校の中にゆっくりと過ごせる場所ができること、授業に出られなくても校内で学習保障が可能になること等のメリットがある。逆に、デミリットやリスクとしては、不登校の早期対応の場合、児童生徒は定義上不登校になっていないため、利用基準が明確化しづらいこと、だらだら過ごしてしまうといった学校生活からの退避的居場所化などのリスク、校内で孤立し差別化された場所になる可能性、人件費を含めた人員配置の問題、等がある。上述の功罪あるいは解答者独自の論点からいくつか論理的に展開されていること。
- ③ 論述内容が明確でわかりやすいこと。
- ④ 誤字脱字は一つあたり1点減点する。